

条例第18条の2第2項に規定する自主規制団体からの聴き取り結果

(令和5年9月6日実施)

	図 書 名 等	聴 き 取 り 内 容
1	<p>macaronRINX マカロンリンクス comics ミステック mystick COMICS ノコノコ♂動画 Over Limit!!</p> <p>令和5年8月4日発行</p>	<p>性器の修整はなされているが、体液描写と擬音が多い。卑わいさはそれほど感じないが、道具を使い、拘束して性行為に及ぶ。「SMプレイ」だとしても表現がきついため人格否定的な要素を強く感じる。複数人での性行為も当たり前のこととして描かれており、青少年に読ませるにはふさわしくない。指定該当。</p> <p>とてもコミカルで主人公二人の関係とキャラクター付けが好印象な恋愛作品。物語の設定がアダルト向けの動画配信をしているカップルのため、過激かつ繰り返し性行為が登場する。擬音と体液描写はコミカルさの演出のように感じさせているが、その数は多い。性器描写も白抜きを徹底し配慮を感じるが、その数は多い。物語中の企画の内容を含め、総合的に判断し、指定該当やむなし。</p> <p>性描写は多く、施行規則第15条第1項第1号イの卑わいな感じを与えるものである。指定該当。</p> <p>暴力的シーンはなく人格否定的ではない。性器も白抜きになっているが擬音や体液の描写が多く、大開脚の場面も多い。拘束器具など様々な器具もあり性器に危険と思われるものもある。指定該当。</p> <p>ストーリー性はほぼなし。性器は直接描かれていないが、性交のシーンが露骨。拘束があり、器具の誤った使用もある。確実に施行規則第15条第1項第1号イ・ロに該当する。指定該当。</p> <p>暴力や人格否定などはない。性器は白抜きにはなっているものの、道具を使っていたり性器の形状が分かり描写回数が多い。卑わい感を否定できない。指定該当。</p> <p>男性同士の恋愛＝性愛を描いた作品。全体的に性交シーンが多い。性器修整は白抜きでなされているが、輪郭で形状が分かる箇所が所々ある。器具を使用した性交も目立つ。人体損壊ではないが、やや強制感を保った表現となっている。体液表現も多い。指定該当やむなし。</p> <p>基本的には登場人物は限られており相互同意の上でストーリーが展開されている。とは言え、拘束プレイは気になる。性器描写については、許容できる部分とそうでない場面もある。性交シーンが多く、擬音、体液描写も多い。指定該当。</p> <p>性器の修整はしっかりされているが、画角、極部の強調、器具の使用、拘束、性交シーンの多さ。総合的に判断し、指定該当。</p> <p>人格否定や暴力表現はない。好き同士のカップルが性行為そのものを明るく楽しくふりきって描いている。しかしながら、性行為の描写は、擬音、体液、性器内表現、器具の使用と生々しく、卑わい感があり、18歳未満にふさわしい作品とはいえない。指定該当やむなし。</p> <p>全体的にからむ描写が多く感じる。道具の使用や配信をする行為はやりすぎのようにも思うが、暴力にはつながっていない。性器のぼかしは甘い。総合的に判断し、保留。</p> <p>性器描写は白抜きで配慮されている。人格否定につながる描写もない。指定非該当。</p> <p>ベースは恋愛もの。動画配信のサービスを企画するという設定で著しく性的感情を刺激するかと問われるとそこまでではない。アダルトグッズの企業案件などでは器具を使用するシーンもあるものの、人格否定や暴力的なシーンもなく行為そのものもそこまで多くはない。指定非該当。</p> <p>性交シーンの分量や器具の使用が気になる。ライトな絵柄でコメディ色が強いいため卑わい感は薄い。性器の修整は白抜きで一定の配慮が見られる。人格否定要素も少ない。指定非該当。</p>

条例第18条の2第2項に規定する自主規制団体からの聴き取り結果

(令和5年9月6日実施)

	図 書 名 等	聴 き 取 り 内 容
2	ミステック mystick COMICS すべてきみの悪い夢 令和5年9月4日発行	<p>卑わいな感じは薄く、性描写もやや少ないが、成人コミックの棚以外で陳列する気にはならない。指定該当。</p> <p>医者と患者と同僚との関係。全体として擬音や体液の描写が多い。性器は白抜きになってはいるがそのまわりの描き方で卑わい感がある。ストーリーはミステリー的だが、治療と称して相手を誘導していく方法、表現はいかがか。指定該当。</p> <p>ストーリー性があり、絵もきれい。性器は直接描かれていない。性交のシーンも直接的な表現はないが拘束があり、施行規則第15条第1項第1号イ、ロには該当する。指定該当。</p> <p>性的な評価よりも精神疾患の患者を愚弄しているとも考えられるストーリーで青少年向けとは言えない。指定該当。</p> <p>セックスの描写は比較的少ない。性器のぼかしも甘い所はあるにせよ、そこまでではない。卑わいさはないが、夢や、支配等のワードが多くもやもや感がある。保留。</p> <p>いわゆるボーイズラブ作品だが、ホラーものとして受け取れる。医者が立場を悪用していると分かる内容なので、薬の使用シーンも猟奇的な犯罪行為と読める。性器表現も修整されている。保留。</p> <p>性器描写はボカシが多用されており許容範囲かと思う。性交シーンもあるが、角度をつけるなどの場面もある。一方、大開脚でのシーンや擬音も目立つ。全体として指定とする判断に迷う。保留。</p> <p>ミステリーチックな世界観と筆力でとても読ませる作品。しかし、医療行為と称して薬物等を使用しての性行為は、同意なく人格否定と認める。総合的に判断し、保留。</p> <p>性器の修整はされている。擬音はやや多く感じるが、体液描写は少なく、性行為のアングルもそこまで卑わいさはない。エロというよりホラー作品。薬物の使用によって相手の自由や正当な判断力を奪って性行為に及ぶというストーリーは人格否定的であるが、それを礼賛するものではなく、破綻した人物の行為として描いている。判断に迷うが総合的に見て指定非該当。</p> <p>スリラーやホラーのジャンル。性行為の場面も少なくなく、擬音描写も多いが、卑わい感より恐怖感が勝っている。性器はほぼ白抜きで形さえも分からないようにしており、配慮している。人格否定描写も薬物を使う行為も決して快樂のための是認ではなく、危険な行為であると読めるように描いている。以上を総合的に判断して成人向きとまでは言えない。指定非該当。</p> <p>性器描写は白抜きで配慮がされている。猟奇的な描写はあるものの人格否定につながるとまでは言えない。指定非該当。</p> <p>心療内科やセラピーという設定での行為など、著しく性的感情を刺激するものとは感じない。人格否定や暴力的なシーンはなく行為そのもののシーン（局部含め）も比較的少なめ。指定非該当。</p> <p>性描写も多く、器具の使用もある。サスペンス風のストーリーがしっかりしているので、卑わい感は感じない。性描写も表現の一部としてみれば修整も配慮が見られる。指定非該当。</p> <p>性器の修整はしっかりしている。一部画角での工夫はあるが、極部は強調されている。催眠術については是認はしていない。総合的に判断し、指定非該当。</p>